

<農業生産法人、集落営農組織の育成に取り組む事例>

○協定参加者以外も含め集落ぐるみで共同活動を実施

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	滋賀県大津市 伊香立向在地 町 集 落 協 定 推 進 会			
協定面積 16.3ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻、麦、大豆			
交付金額 273万円	個人配分			48 %
	共同取組活動 (52%)	役員報酬		5 %
		景観形成活動、共同防除、担い手定着活動		7 %
		揚水管理、ため池管理、道路管理		11 %
		地力増進活動、耕作放棄対策		5 %
		共同利用機械購入積立金		21 %
		その他		3 %
協定参加者	農業者 45人、農業組合 1、土地改良区 1、自治会 1			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	作成していない			

2. 取組に至る経緯

伊香立向在地町集落では、平成元年から 10 年にかけてほ場整備が行われ、米を中心とする営農を展開しているが、兼業農家の増加、高齢化の進行、米価の低迷等の課題を抱え、営農意欲の減退や集落活力の低下が見られてきたことから、将来に渡り集落の維持発展を図っていくため、平成 12 年から中山間地域等直接支払制度に取り組むことになった。

ほ場整備によって整備された優良な農地を担い手へ引き渡すため、現在の営農組織を発展させ継続的な営農体制を確立し、また、生産の中心である米のブランド(伊香立ブランド)を立ち上げることを目指し、活動に取り組んでいる。

3. 取組の内容

集落ぐるみの農業生産活動体制の整備に取り組み、共同利用機械の整備を行った。農地は所有農家が耕作・管理し、農道・水路の維持管理は協定対象外農家も一緒に参加して、集落ぐるみで農業活動を実践している。

また、近年は、イノシシ、シカ、サルによる農作物被害が深刻化してきたことから、電気柵の設置を行うなど、獣害対策にも取り組んでいる。

集落づくりの一環として、休耕田にコスモスを植え、コスモス田作り等の活動を行うとともに、自治会活動(夏祭り)にも協賛し、多面的機能増進活動を自治会と協同して実施している。また、開花時期には、集落外からも多くの人が訪れ、住民との交流を図っている。



【向在地集落】



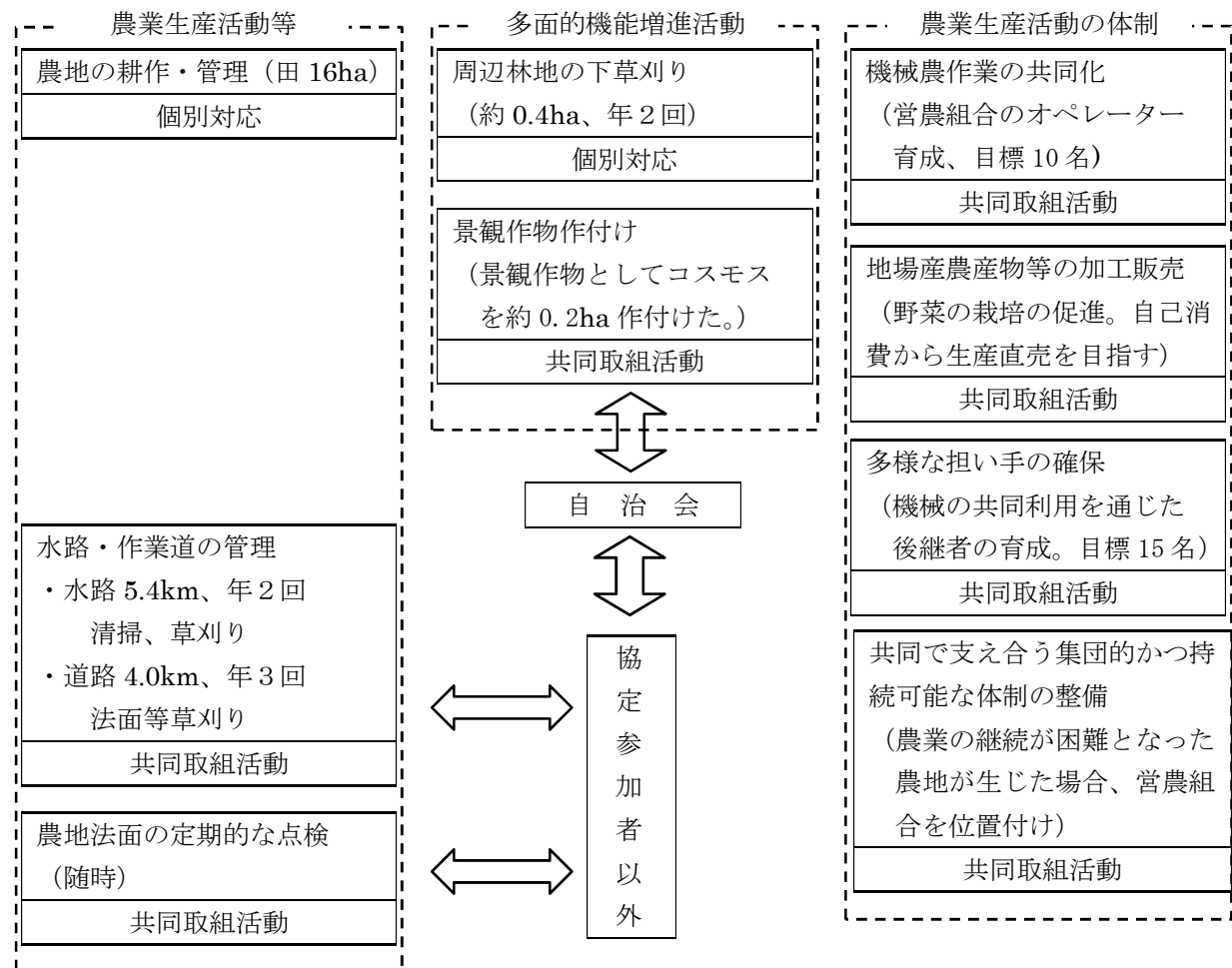
【法面の草刈り作業】

〔集落の将来像〕

- 生産性の向上
- 住みよい集落づくり

〔将来像を実現するための活動目標〕

- 営農組織のオペレーターを育成し、農作業の受委託による効率化
- 機械施設の共同利用を通じ、後継者の育成



4. 今後の課題等

集落の課題としては、リーダーの確保、高齢化の進行、担い手の育成等があげられるが、「いかにして鳥獣害の被害を防いでいくか。」が当面の課題。

また、伊香立向在地町集落は、他集落に比べ比較的条件が揃っていることから、危機感をもっている農業者が少ないため、今後、集落内の意識を共有し、集落全体で地域を守るといふ更なる意識の向上が必要。

〔第 2 期対策の主な成果〕

当該事業に取り組むことにより、集落全体で農業に取り組むことができ、農業活動の継続が図られている。